九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

河川流域の流木発生ポテンシャルに基づく橋梁の流木災害リスク評価法の開発

堂薗, 俊多

https://doi.org/10.15017/1807009

出版情報：九州大学, 2016, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

（様式５－２）

氏　　名	堂薗　俊多
論　文　名	河川流域の流木発生ポテンシャルに基づく橋梁の流木災害リスク評価法の開発
論文調査委員	主　査　　九州大学　　教授　　矢野真一郎 副　査　　九州大学　　教授　　橋本典明 副　査　　九州大学　　教授　　三谷泰浩

論　文　審　査　の　結　果　の　要　旨

本論文は、河川流域において大規模水害が発生した際に被害を助長する流木について、流域全体の斜面災害の発生可能性、森林の状況、発生源と河道との位置関係、ならびに河川上の橋梁の諸元の情報を統合して流木災害のリスク評価を可能とする手法の開発を行っている。この研究成果は、これまで水と土砂の総合管理に注力してきた河川管理において、新たに流木の総合管理を可能とする手法として提案できる有益な知見であり、河川工学や防災工学の分野で寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値すると認める。